

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

株式会社ブロードバンドセキュリティ | 2026年5月13日

[株主通信](#)更新のお知らせ

大日本印刷様との対談「日本の製造業におけるセキュリティの未来について」をぜひご覧ください。



便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

3Q決算概要

売上高は前年同期比8.5%増、営業利益は同42.6%増と大幅増益
3Q会計期間・累計ともに過去最高の売上高
全てのサービス区分において増収継続

通期業績予想

売上高71億円（前期比+16.3%） 営業利益 7 億円（前期比+171.4%）の
増収増益を計画
豊富な受注残と経営体制の刷新で業績回復を見込む

トピックス

- 新サービス「G-MDR®」業界を問わず多くの企業からの引き合いが増加、来期の業績貢献に向けて導入は順調に進む
- 配当 + 株主優待制度で株主還元を強化
2025年11月12日公表：株主優待を新設、300株以上保有の株主様を対象にデジタルギフト®年間10,000円相当（中間・期末各5,000円相当）を贈呈

前期比増収大幅増益を継続、第3四半期会計期間の営業利益率は13.8%

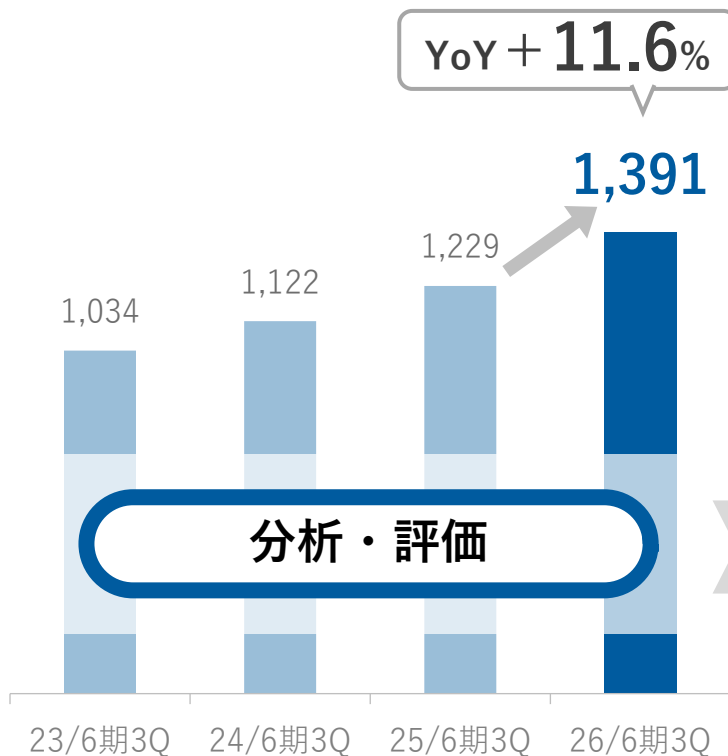
単位：百万円	26/6月期				25/6月期 3Q累計 7月～3月	3Q累計 前期比増減額	3Q累計 前期比増減率
	1Q 7月～9月	2Q 10月～12月	3Q 1月～3月	3Q累計 7月～3月			
売上高	1,493	1,754	過去最高 1,863	過去最高 5,111	4,712	399	+8.5%
売上原価	1,080	1,189	1,194	3,464	3,280	184	+5.6%
売上総利益	412	564	669	1,646	1,431	215	+15.0%
販売費及び 一般管理費	380	406	412	1,199	1,117	81	+7.3%
営業利益	32	158	257	447	313	133	+42.6%
営業利益率	2.1%	9.0%	13.8%	8.8%	6.7%	-	+2.1pt
経常利益	15	168	275※	459※	291	167	+57.6%
経常利益率	1.1%	9.6%	14.8%	9.0%	6.2%	-	+2.8pt
当期純利益	5	108	186	300	180	119	+66.4%

※経常利益増加の要因：秋田県の本社機能等移転促進事業補助金等の収入によるもの（約40百万円）

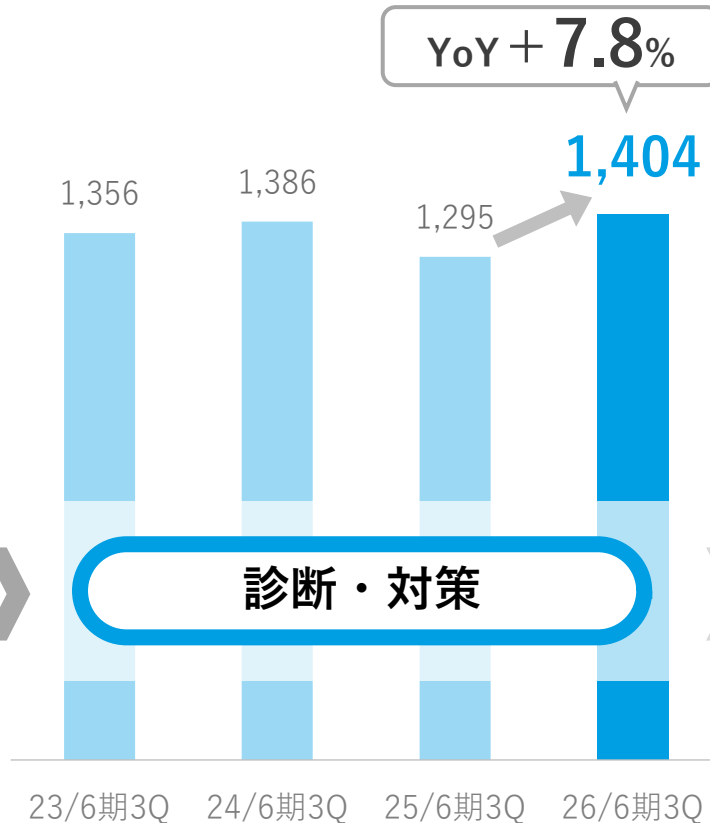
引き続き監査・コンサルティングはコンサル案件が大きく伸長
 計画通り3Qから脆弱性診断、情報漏えいIT対策の業績は好調に推移

(単位：百万円)

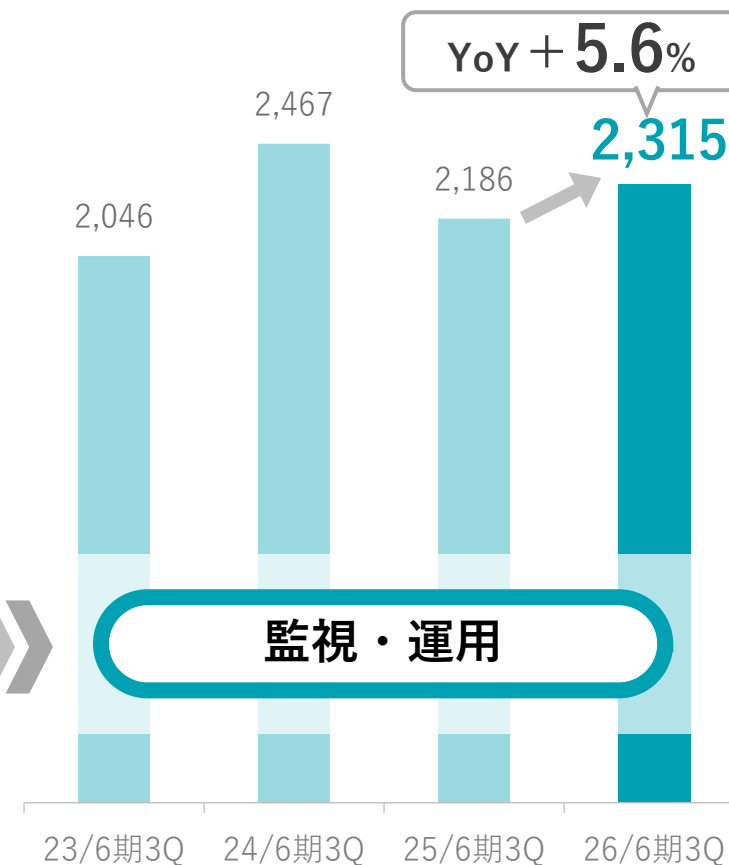
監査・コンサルティング



脆弱性診断



情報漏えいIT対策



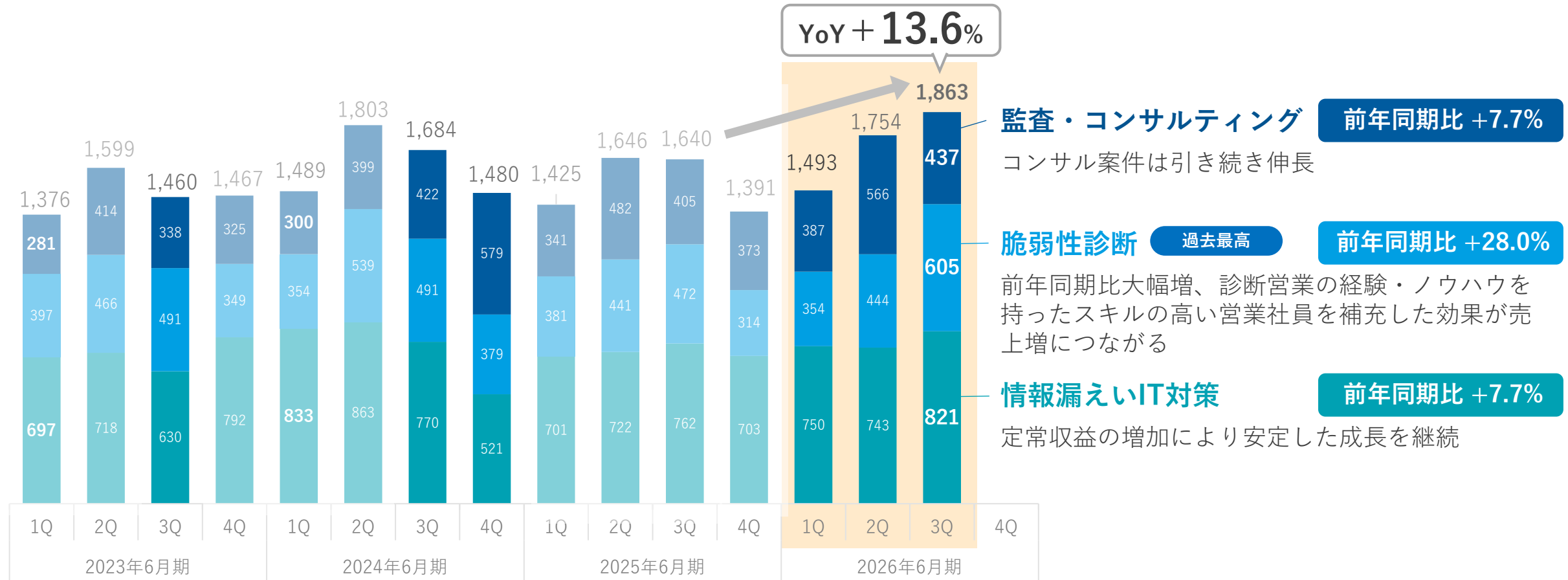
第3四半期会計期間の売上高は前年同期比13.6%増と二桁増収

全てのサービス区分において前年同期比増収、脆弱性診断は過去最高の6億超となる

(単位：百万円)

中長期の事業拡大に向けて
ビジネス改革を開始

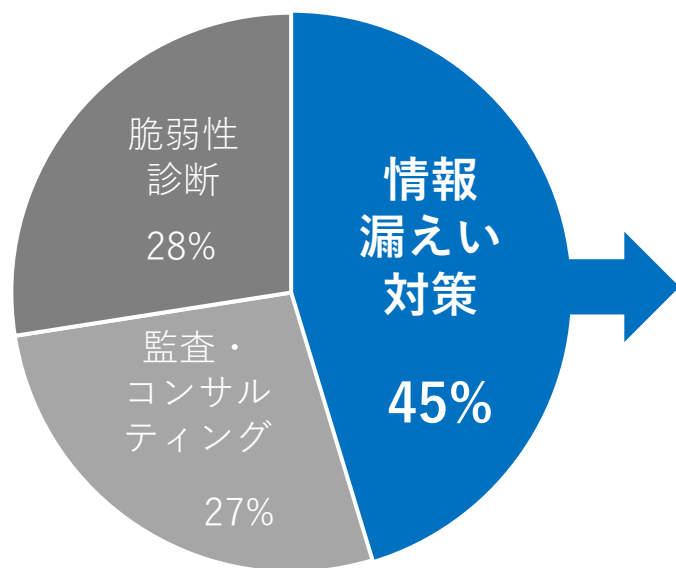
2Q以降
刈り取り時期へ



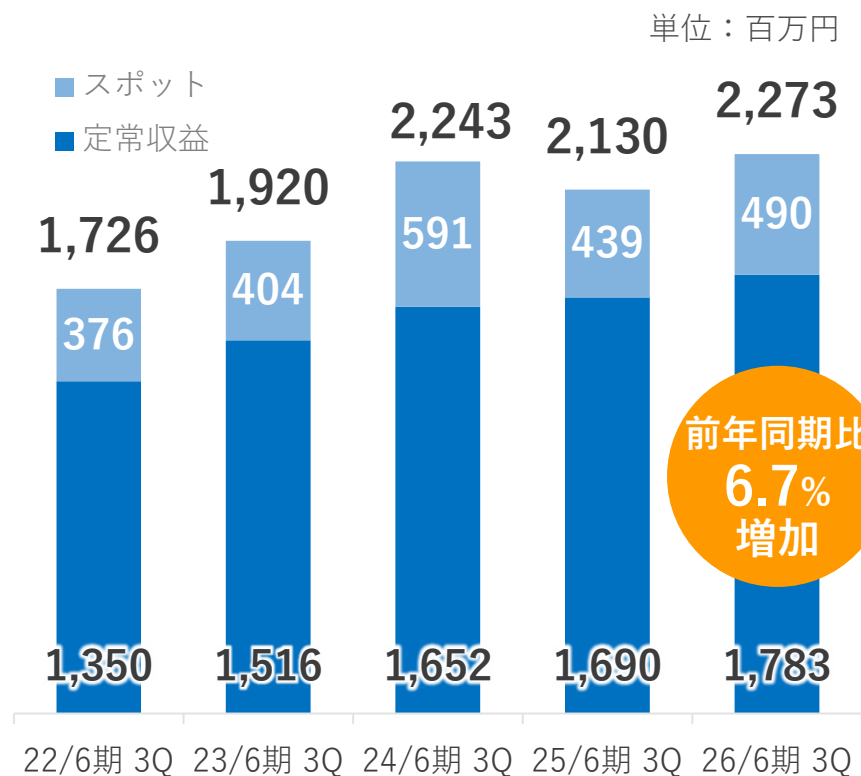
情報漏えいIT対策の定常収益は安定的に成長

当社主力事業として、スポット案件獲得の増加と定常収益の継続的な伸長を目指す

サービス区分別売上高比率
26/6期3Q累計



情報漏えいIT対策（国内売上）の定常収益、スポット推移(3Q累計)



定常収益の着実な増加

情報漏えいIT対策の定常収益は、
前年同期比6.7%増加

スポット案件の増加と合わせ、安定収益源として当社主力事業である情報漏えいIT対策の成長に寄与

<スポット>

セキュリティ機器販売、セキュリティ運用サービス初期費用、緊急対応等

<定常収益>

セキュリティ監視・運用・保守、ライセンス・サブスクリプション等

アウトソーシング型セキュリティ対策サービス「G-MDR®」採用企業が拡大

サイバーリスクが高まる一方で、企業のセキュリティ対策はまだ整備が進んでいない状況

◆ 「止まるリスク」と「連鎖するリスク」

ランサム攻撃
による被害

サプライチェーンや
委託先を狙った攻撃

分散型サービス妨害
攻撃 (DDoS攻撃)

◆ 組織的なセキュリティ体制が整備されていない

中小企業の約70%

※出所：経済産業省25年2月19日公表「中小企業の実態判明 サイバー攻撃の7割は取引先へも影響」

「G-MDR®」採用拡大の要因：24時間365日運用と、既存対策の統合監視ニーズ

- 複数のセキュリティ対策を統合的に監視・相関分析し、単体監視では検出が難しい脅威の早期検知と迅速な対応を支援
- 専門エンジニアが24時間365日体制で監視・運用を担い、平時の脅威分析から有事の対応支援まで包括的に提供

**IT業界、金融業界、製造業界など
業界を問わず多くの企業からの引き合いが増加**

26/6期は導入段階、本格的な業績貢献は27/6期以降を見込む

さらなる事業拡大に向けて、技術者の人材確保は順調に進捗

2021年に「東北セキュリティ診断センター」を設立し、特に東北地区での技術者確保が順調に進捗

地域貢献

+

IT人材採用

「東北セキュリティ診断センター」 地域との強固な連携により人材を確保

秋田県の「本社機能等移転促進補助金」適用業者として認定

4月

新卒採用

8カ月間の
技術研修

12月

大きく成長して
現場で活躍

先輩エンジニアによる研修やOJT
外部有識者による勉強会

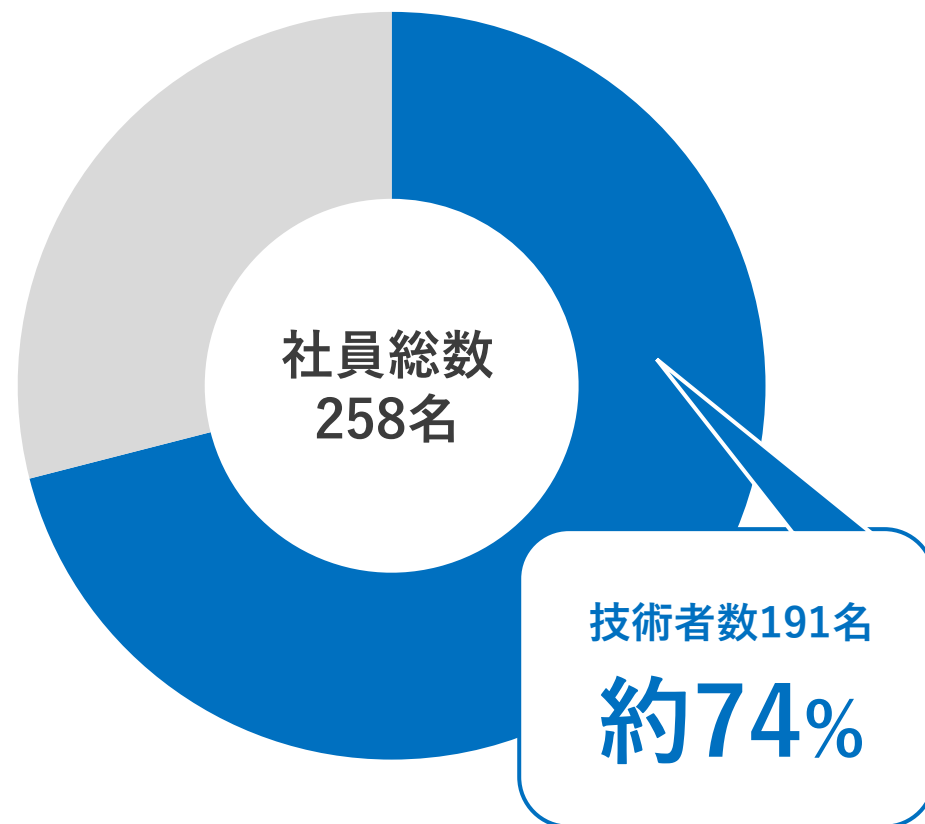
セキュリティ基礎

診断ツールの使い方

脆弱性診断

etc

社員構成（26年5月1日時点）



自己資本比率は50%を上回る水準で安定

単位：百万円	2025年6月期 実績	2026年6月期 第3四半期実績	前期末比増減	前期末比増減率
流動資産	2,561	2,688	127	+5.0%
固定資産	1,236	1,396	159	+12.9%
資産合計	3,797	4,084	287	+7.6%
流動負債	1,304	1,370	65	+5.0%
固定負債	385	347	-38	-9.9%
負債合計	1,690	1,717	27	+1.6%
純資産合計	2,107	2,367	259	+12.3%
(自己資本比率)	55.5%	58.0%	-	+2.5pt

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

Q AIが台頭してきていますが、貴社の仕事がAIに奪われてしまったりしませんか？

A AIの進化により、サイバー脅威はさらに巧妙に複雑化され、より高度なセキュリティ専門人材が必要とされてきており、当社のビジネスはより拡大していく方向にあると実感しています。

高性能AIの普及により考えられる セキュリティ業界への影響

- サイバーセキュリティ攻撃の高度化・低コスト化・コモディティ化
- AIへの過度な依存や不適切な利用による誤判断や責任所在の不明確化といった、安全や品質へのリスクの顕在化



セキュリティ事業者に求められる価値に変化をもたらすとともに、新たなセキュリティサービスやセキュリティニーズが顕在化

セキュリティサービス市場は更に成長

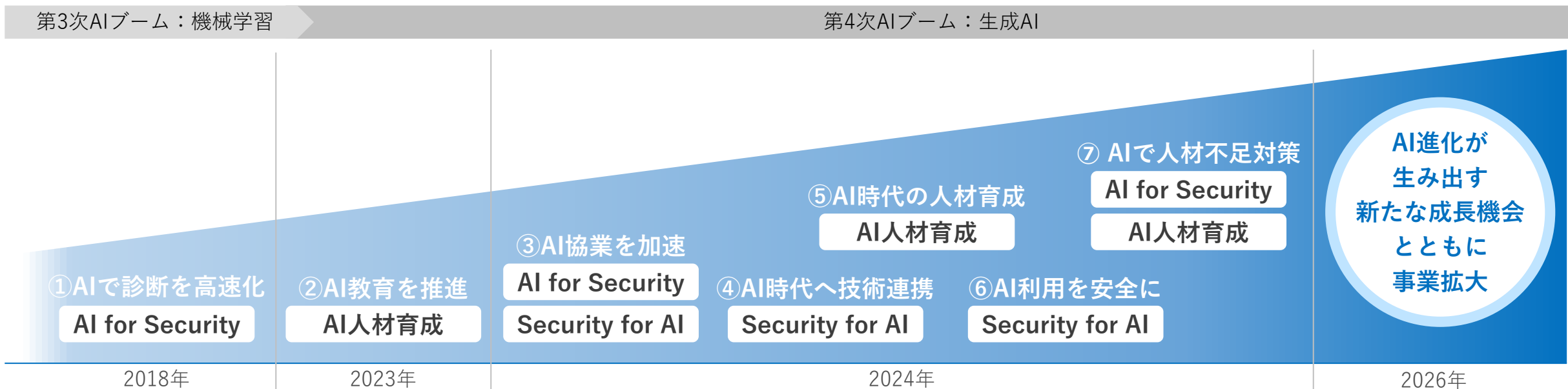
「AI利用前提の、サイバーセキュリティへの統制と専門性の強化」 によりAI時代のセキュリティへの対応を進める

- ① **AI for Security (AI活用による効率化・高度化)**
診断・監視・調査業務の自動化・高精度化により、生産性と品質を向上
- ② **Security for AI (AIを安全に使うための支援)**
AI導入企業向けに、監査・統制・説明責任を担う高付加価値サービスを提供
- ③ **セキュリティ+AI人材の育成**
最終判断・評価・助言を担う専門人材を強化し、高難度領域で差別化

VISION2030において、AI時代のセキュリティを掲げて活動しています。ぜひ[当社Webサイト](#) [経営ビジョンと成長戦略](#) を是非ご覧ください

AI利用前提の、サイバーセキュリティへの統制と専門性強化の取り組み

	プレスリリース	概要
①	2018.09.26 BBSec、AI搭載の自動脆弱性診断サービスを新たにリリース	AI活用で脆弱性診断を高速化し運用負荷を軽減
②	2023.03.10 秋田県等との連携協力協定（AI・データサイエンス教育研究記載あり）	AI・データサイエンス分野の教育研究を推進
③	2024.02.13 pluszero社とのAI×セキュリティ分野における協業開始について	AIとセキュリティ融合による新サービス創出を推進
④	2024.04.12 動画の超圧縮技術ベンチャー企業との資本業務提携に関するお知らせ	AI時代を見据え動画圧縮技術との連携を強化
⑤	2024.06.03 東京都立産業技術高等専門学校との産学連携協定（AI時代のセキュリティ記載あり）	AI時代に対応する実践的なセキュリティ教育を推進
⑥	2024.07.12 「AIサービス提供者・利用者向けサイバーセキュリティ対策支援サービス」の提供を開始	AIサービス利用時のサイバー対策支援を提供開始
⑦	2024.11.18 セキュリティ人材不足を見据え、BBSecとNTTテクノクロスがAI技術で実証実験開始	AI技術でセキュリティ人材不足解消を目指す実証



2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

2025年6月期の課題は対策済。豊富な受注残と経営体制のさらなる強化で業績回復を見込む
各段階利益とも、前期比大幅増益を見込む

- ✓ 前期末の受注残は29億円超で過去最高水準となり、情報漏えいIT対策の定常収益（月額売上）と監査・コンサルの受注残をベースに、売上を伸長する
- ✓ 受注残の本格的な売上寄与は第2四半期以降の見込み
- ✓ ビジネス改革を着実に進めて、業績回復の取り組みを強力に推進する

単位：百万円	2025年6月期	2026年6月期	前年同期比
	通期実績	通期計画	増減率
売上高	6,103	7,100	+16.3%
営業利益	257	700	+171.4%
営業利益率	4.2%	9.9%	+ 5.7p
経常利益	251	670	+166.7%
経常利益率	4.1%	9.4%	+5.3p
当期純利益	142	460	+222.3%
当期純利益率	2.3%	6.5%	+4.2p

資本業務提携の株主との協業を加速し、協業強化で顧客獲得にドライブをかける

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
教育商材、リソース補完

当社顧客のセキュリティ意識を高め
ビジネスチャンスを拡大

KEL
KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

兼松エレクトロニクス株式会社
能動的サイバー防御の
セキュリティ運用サービス

『G-MDR®』販売の強化

ID Holdings

株式会社IDホールディングス
ITインフラ/システム運用
+セキュリティ

セキュリティ運用強化、AI×セキュリティ/
先端技術へのセキュリティの共同開発



DNP

大日本印刷株式会社
OT SOC+工場セキュリティ

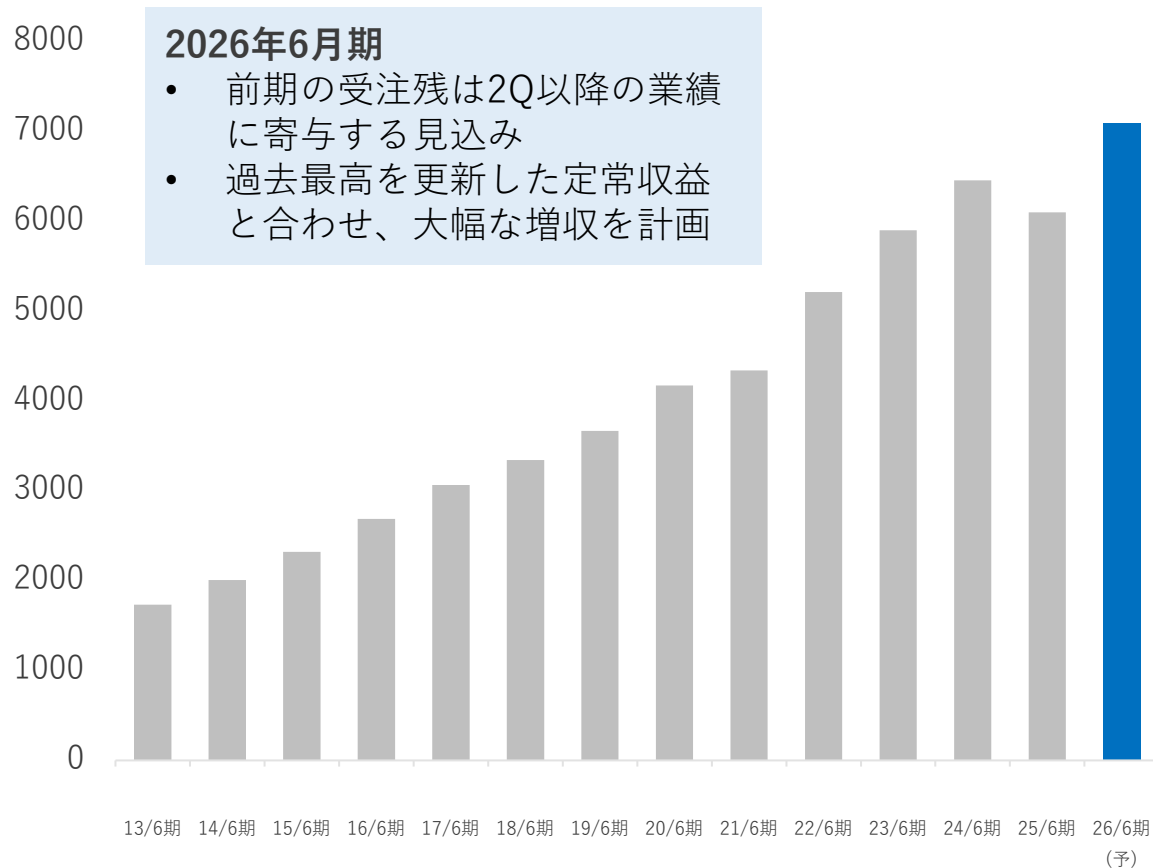
製造業向けセキュリティサービス強化

各社からの当社への出資比率は次の通りです。GSX社22.62%、KEL社9.83%、IDホールディングス社21.57%、DNP社0.43%

営業課題への対策と過去最高の受注残、社内体制の確立を背景に、 2026年6月期は過去最高業績を計画

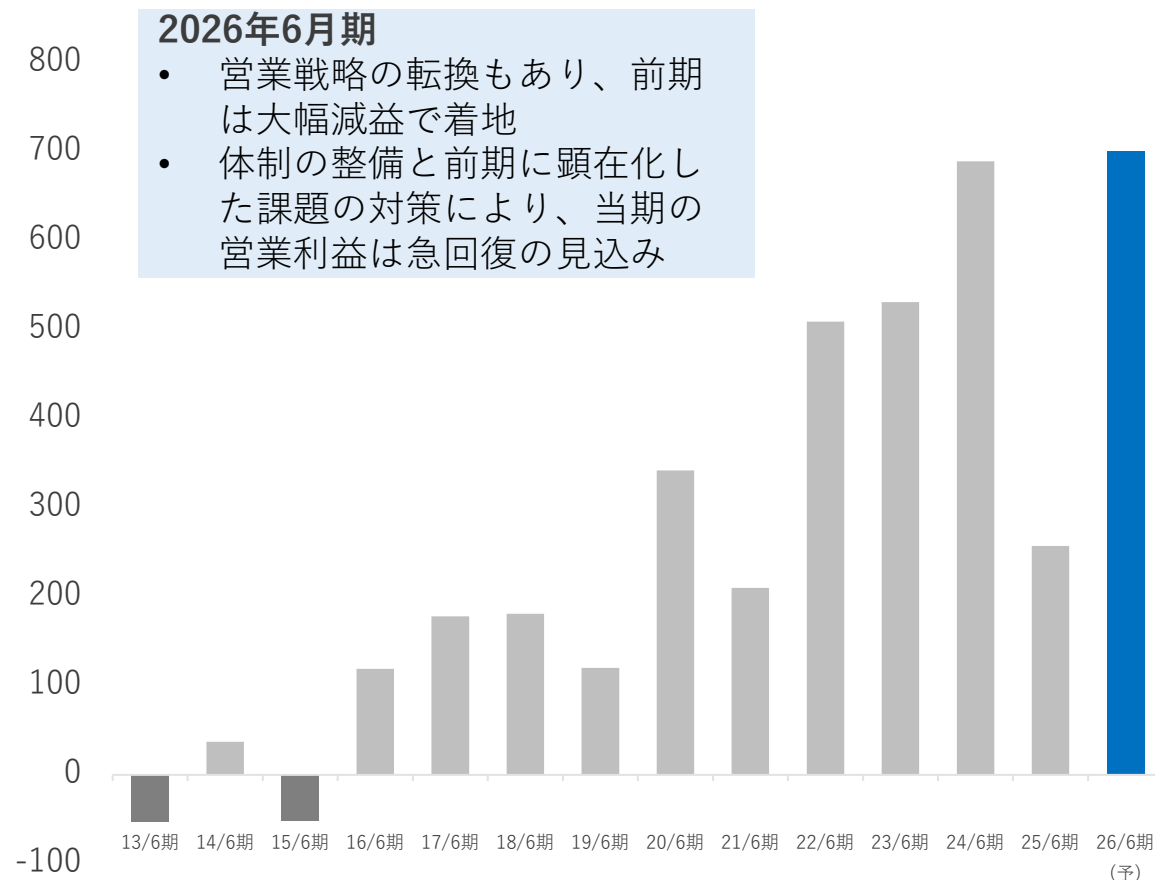
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

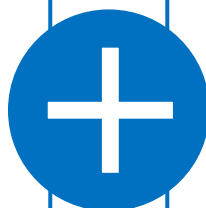
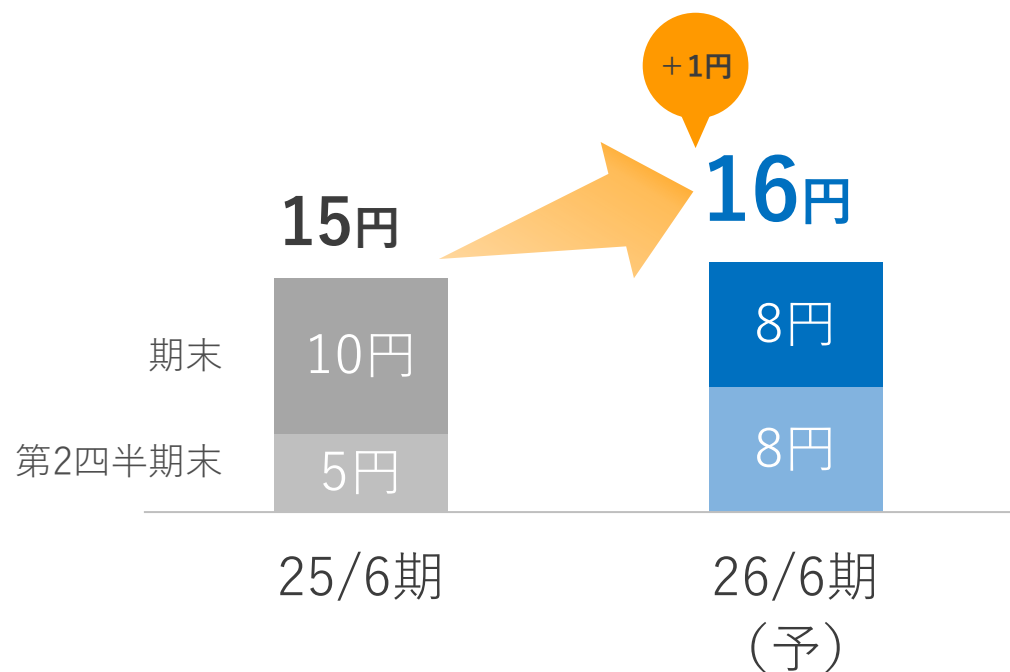
事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応


Vision2030について

- ✓ これまでの業績により財務基盤も強化されており、安定的かつ継続的な配当として増配を実施
- ✓ 新たに株主優待制度による株主還元も実施することで、引き続き利益還元の充実と株主価値の向上に取り組む（2025年11月12日公表）

配当



株主優待 (2025年11月12日公表)

300株以上保有の株主様対象
デジタルギフト® 
年間10,000円相当を贈呈※
(中間・期末各5,000円相当)

▶ 対象となる株主様

毎年12月末日及び6月末日現在の当社株式名簿に記載または記録されている、300株以上を半年以上継続保有の株主様を対象といたします。なお、初回の2025年12月末日基準に限り、継続保有条件を設けておりません。

株主優待制度を導入

300株以上保有の株主様を対象に

デジタルギフト[®]年間10,000円相当 (中間・期末各5,000円相当) を贈呈

●対象となる株主様

毎年12月末日及び6月末日現在の当社株式名簿に記載または記録されている、300株以上を半年以上継続保有の株主様を対象といたします。

なお、初回の2025年12月末日基準に限り、継続保有条件を設けておりません。

●株主優待制度の内容

基準日	保有株式数	優待内容	贈呈時期
毎年12月末日	300株 (3単元) 以上	デジタルギフト 5,000円相当	3月
毎年6月末日	300株 (3単元) 以上	デジタルギフト 5,000円相当	9月



※デジタルギフトの対象となる交換先は下記のとおりです。

Amazonギフトカード/QUOカードpay/dポイント/PlayStation Store/すかいらーくグループ/Uber/Uber Eats/Google Play/au PAY/Huluチケット/DMM.com/Visa eギフト/
図書カードNEXT/TOHO CINEMAS/ムビチケ/ROBLOX/アンビュー!/吉野家/TULLY'S COFFEE/KFC/サーティーワン/選べるおいしいお肉カード/全国お取り寄せスイーツカード等

※詳細につきましては、2025年11月12日開示の「[株主優待制度の導入に関するお知らせ](#)」をご覧ください。

IRサイトリニューアル

より見やすく、IRコンテンツを充実していきます。
是非新しくなったIRサイトをご覧ください。



ブロードバンドセキュリティ IRサイト
<https://www.bbsec.co.jp/ir/index.html>

To be continued...

注目!

DNP社との取り組みをご紹介します

大日本印刷 × BBSec 特別対談 「日本の製造業における セキュリティの未来について」



サイバーセキュリティが重要視される社会において、ブロードバンドセキュリティ（以下、BBSec）と大日本印刷（以下、DNP）との取り組みが本格化しています。長い間、強い信頼関係で結ばれてきた両社が、資本業務提携によって目指すものとは――。

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

日々の暮らしを
ITセキュリティ対策で支えています

世の中の産業基盤を
サイバーセキュリティ対策で支えています



オンラインゲーム



ふるさと納税



スマートフォン
アプリ



ケーブルテレビ
メールサービス



銀行・EC・旅行・
不動産サイト



クレジットカード



自動車産業



防衛産業



国際送金



電力産業



BBSec

BroadBand Security, Inc.

便利で安全なネットワーク社会を創造する



社名 株式会社ブロードバンドセキュリティ(略称 BBSec)

本社 東京都新宿区

設立 2000年11月30日

従業員数 239名(2025年6月末現在)

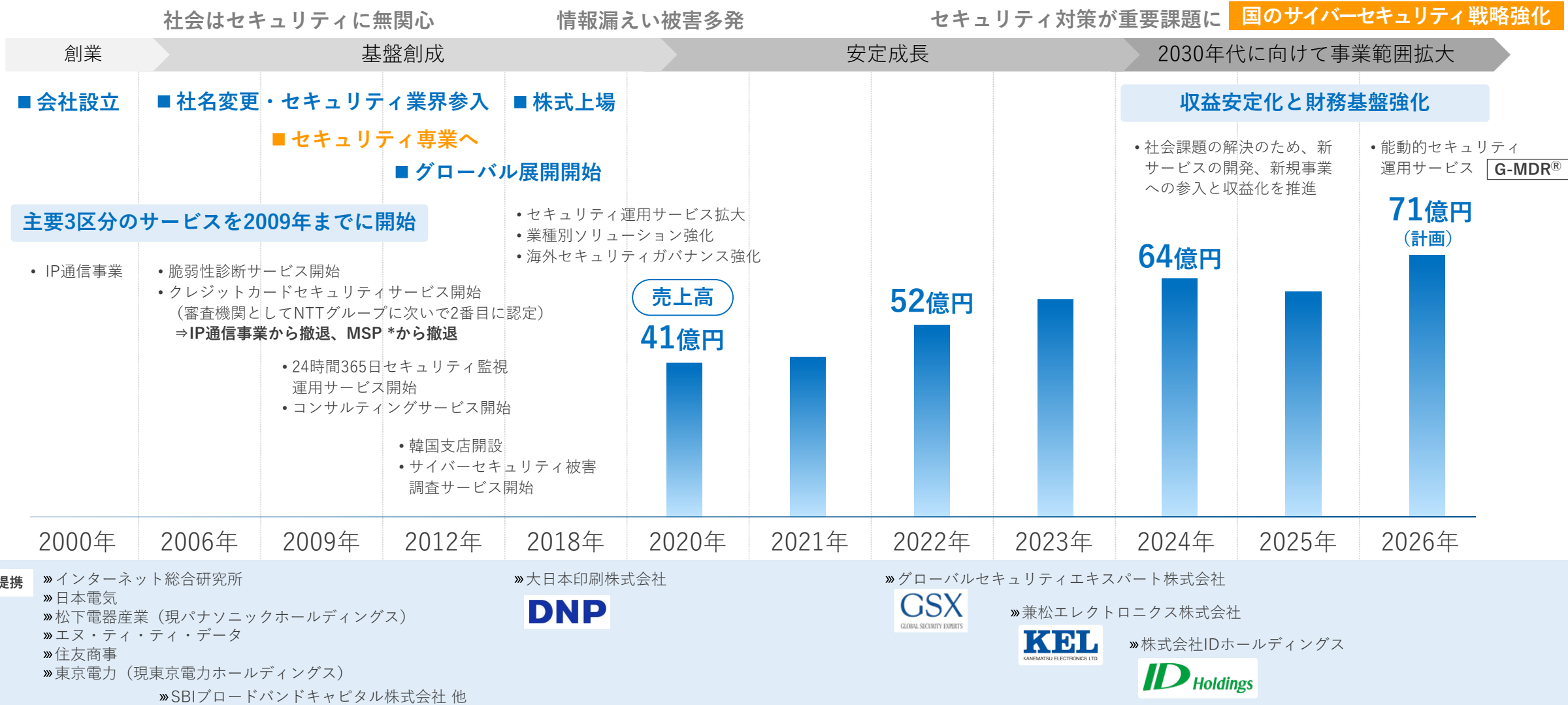
代表者名 代表取締役社長 滝澤 貴志

資本金 301百万円

上場 2018年9月(東証スタンダード:4398)

主な株主 グローバルセキュリティエキスパート株式会社
株式会社IDホールディングス
SBIインキュベーション株式会社
兼松エレクトロニクス株式会社
大日本印刷株式会社

サイバーセキュリティニーズを先読みした選択と集中。それに伴う資本業務提携で着実に事業を拡大



資本業務提携の株主との協業を加速し、協業強化で顧客獲得にドライブをかける

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
教育商材、リソース補完

当社顧客のセキュリティ意識を高め
ビジネスチャンスを拡大

KEL
KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

兼松エレクトロニクス株式会社
能動的サイバー防御の
セキュリティ運用サービス

『G-MDR®』販売の強化

ID Holdings

株式会社IDホールディングス
ITインフラ/システム運用
+セキュリティ

セキュリティ運用強化、AI×セキュリティ/
先端技術へのセキュリティの共同開発



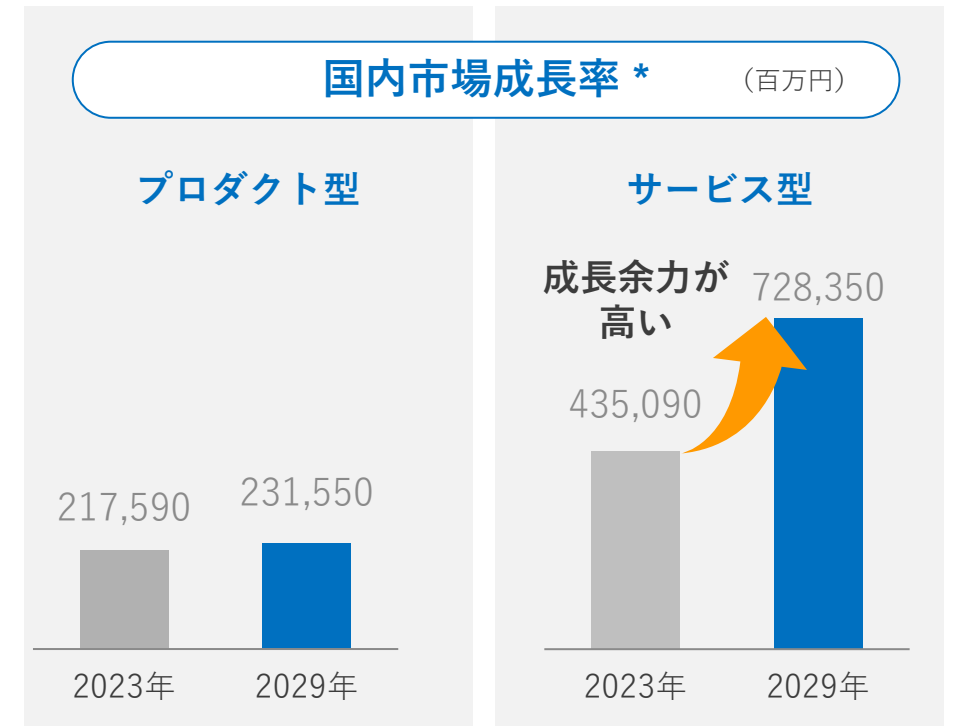
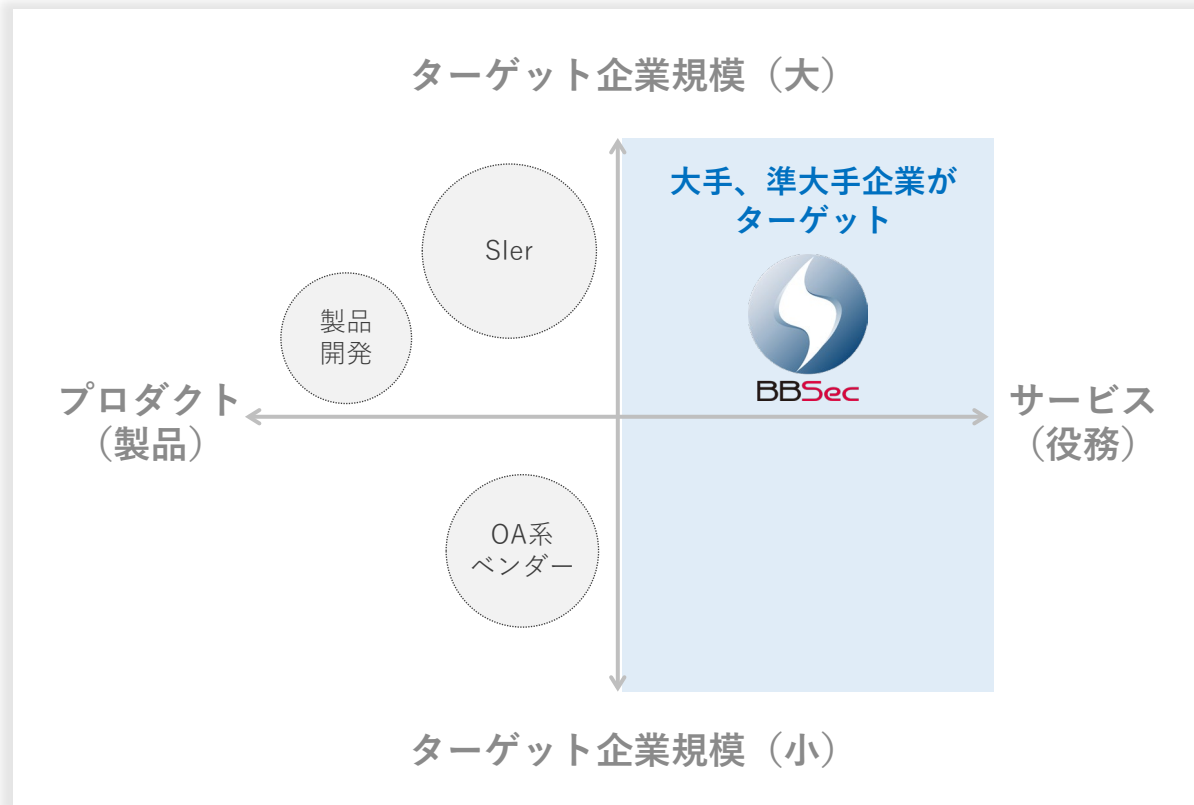
DNP

大日本印刷株式会社
OT SOC+工場セキュリティ

製造業向けセキュリティサービス強化

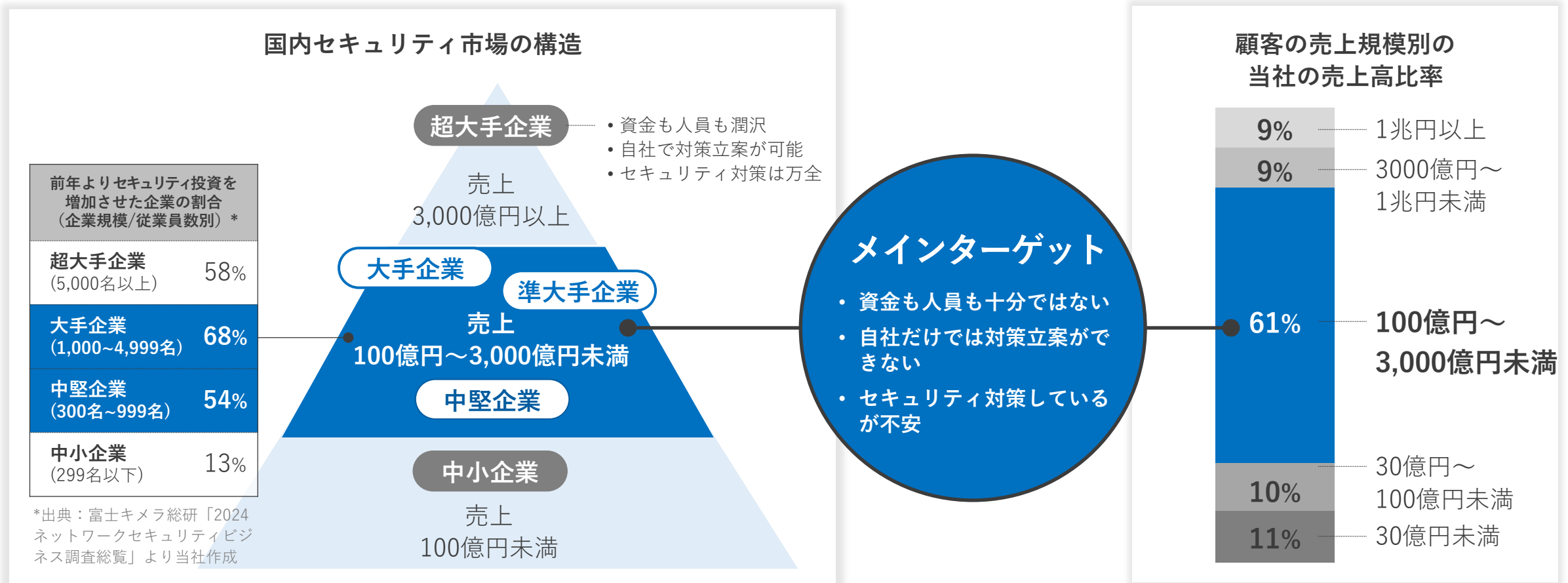
サイバーセキュリティ業界は旺盛な需要が続いており、特に当社の事業領域であるサービスの成長余力は高いと確信

市場における位置づけ



* 出典：富士キメラ総研「2024ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」より当社作成

サイバーセキュリティ投資に積極的な売上高100億円～3000億円の大手、準大手がメイン顧客層



既存顧客2,500社への綿密かつ直接のアプローチに加え、戦略的な株主・資本業務提携パートナーからの集客を組み合わせて、販売戦略をマルチチャネル化



セキュリティ専門事業者として、悪意ある攻撃から組織の情報資産を守り、組織がその情報資産をもとに適正に成長していくことを支援

セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示。

トップクラス

PCI関連資格者数 延べ **146人**

トップシェア

SWIFT監査地銀シェア **約6割**

韓国PCI DSS監査シェア **約7割**

脆弱性診断

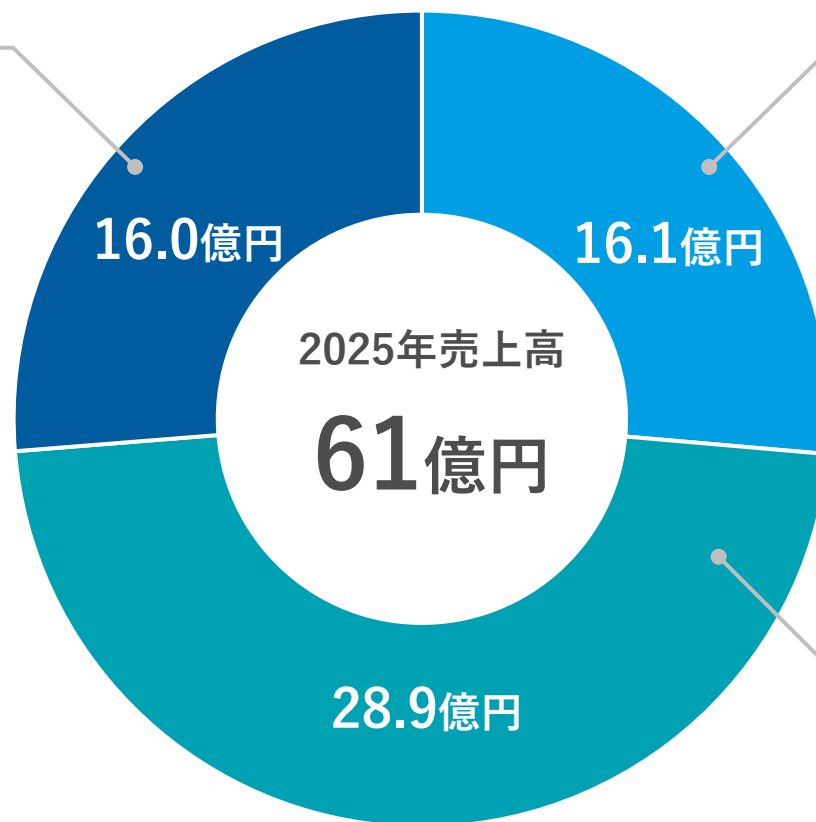
お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューをラインアップ。

豊富な実績

診断実績組織数 延べ **1万社超**

情報漏えいIT対策（監視・運用）

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制でご支援。



あらゆる業界のお客様に寄り添う多様なサービスラインアップ

セキュリティ監査・コンサルティング

－ コンサルティング

- ・セキュリティ・アドバイザー
- ・CSIRT*1構築・運用支援
- ・セキュリティ文書整備支援
- ・AI向けセキュリティ対策支援
- ・サイバーIT -事業継続策定支援
- ・Webサイト構築・コンサルティング

－ 認定資格による監査（評価）

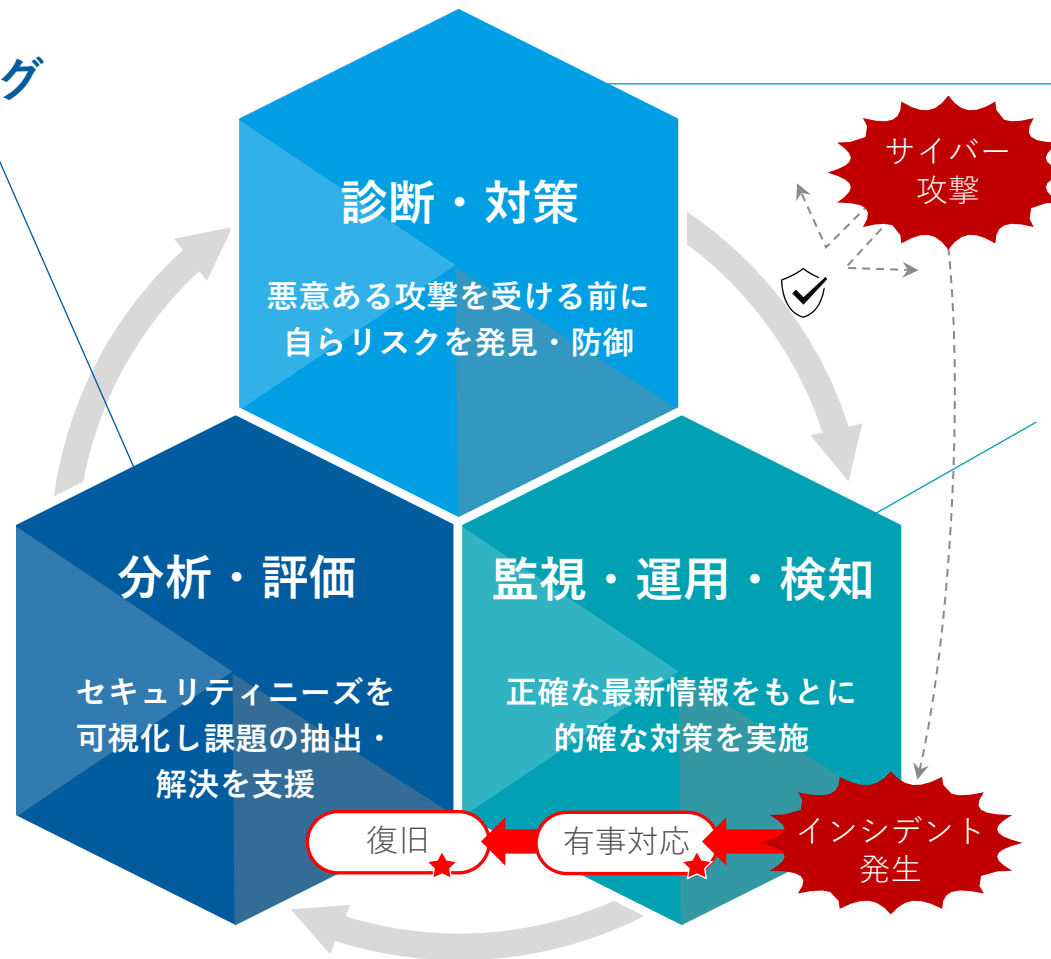
- ・クレジットカードセキュリティ評価
- ・国際送金評価

－ 業界・業種別コンサルティング

- ・金融機関向けセキュリティ評価
- ・自動車部品業界向け対策支援
- ・TISAX*2認証支援コンサルティング
- ・防衛産業セキュリティ基準準拠支援
- ・電気事業者向けセキュリティ評価
- ・地方公共団体向けアセスメント

*1 Computer Security Incident Response Team
サイバーセキュリティの監視・対策を行う社内組織

*2 自動車業界の国際的なサプライチェーンセキュリティ標準



脆弱性診断

- ・Webサイト診断
- ・クラウド設定診断
- ・スマホアプリ診断
- ・ソースコード診断

情報漏えいIT対策 （監視・運用）

- ・マネージドセキュリティ運用
- ・サイバーセキュリティ被害調査
- ・セキュアメール（クラウド）
- ・セキュリティログの収集と分析
- ・統合監視サービス G-MDR®
- ・クラウドセキュリティ運用

G-MDR®
（能動的セキュリティ運用）

★…緊急対応（事故調査）/
クレジットカード情報漏えい調査

顧客基盤

豊富な実績

取引実績

2,500社

重要インフラ：14業種（全15業種）
日経225企業：約4割 をカバー

パートナーシップ

販売パートナー

100社超

通信キャリア4社
SIer売上規模上位10社のうち7社
電力系通信子会社11社のうち10社

豊富な実績

診断実績組織数

延べ1万社超

金融機関・民間企業から官公庁など
延べ6万システム以上に提供

サービス基盤

信用と信頼

継続率

95.5%

24時間365日で提供するセキュリティ
運用サービスの契約継続率

トップシェア

地銀シェア

6割

国際送金(SWIFT)のセキュリティ監査会社
の資格を日系企業として初めて保有

トップシェア

韓国市場シェア

7割

クレジットカードセキュリティ監査会
社の資格保有。韓国でのシェアは7割

人材基盤

トップクラス

PCI関連資格者数

延べ146人

クレジットカードセキュリティ監査の
資格保持者数国内トップクラス

スペシャリスト

技術者の活躍

74.8%

社員の内、セキュリティエンジニア・
セキュリティコンサルタントの比率

エンゲージメント

育休取得率・復帰率

100%

働きやすい職場環境を構築
ひとりひとりのみらいを支援

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

国・政府も、日本全体のサイバーセキュリティ対策の向上に向けた政策を強化
情報保全の強化、セキュリティ市場と事業者の育成、能動的サイバー防御を政策として打ち出す

国家安全保障戦略

(2022年12月)

- ✓サイバー空間におけるリスクの深刻化と経済安全保障の必要性
- ✓安全を確保するためのサイバーセキュリティ技術力の向上
- ✓偽情報対策

情報保全の強化

サプライチェーン強靱化

サイバーセキュリティ産業振興戦略

(2025年3月)

- ✓有望な国産セキュリティ製品・サービスの創出
- ✓高度専門人材の育成
- ✓国際市場への展開

サイバーセキュリティ市場の拡大

0.9兆円⇒3兆円(3倍超)

能動的サイバー防御法

(2025年5月)

- ✓能動的サイバー防御実施体制の構築
- ✓政府から民間事業者等への対処調整、支援等の取組強化
- ✓サイバー安全保障分野の取り組み実現のための法整備

能動的サイバー防御

受動的防御から、能動的防御への変化



セキュリティ対策のニーズが拡大し、当社ビジネスの拡大を後押し

- ✓ 日系セキュリティ事業者として、コンサルを起点に対策から監視・運用まで、総合的なセキュリティサービスを提供
- ✓ セキュリティ専門要員の確保が難しいお客様に、フルアウトソーシング型の能動的サイバー防御を実現するセキュリティ運用サービスを提供

分析・評価

セキュリティ監査 コンサルティング

お客様の個別ニーズや情報システムを含め全社体制で**取り組むべき事項を的確に抽出**し、最適な答えを導き出します

診断・対策

脆弱性診断

悪意ある攻撃を受ける前に、**自らリスクを発見して防御**することで、事業継続性を高めます

監視・運用

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日体制で支援**いたします

事故対応サービス（緊急時）

緊急対応からデジタルフォレンジック、再発防止のための事後対策までを支援します

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年6月期 第3四半期業績サマリー

AIの進化が生み出す新たな成長機会

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

成長のための新たな経営ビジョン「Vision 2030」と「Action 2024」を設定



1. 新規事業への参入と収益化

「Vision 2030」の実現にむけた社会課題の解決のため、新サービスの開発、新規事業への参入と収益化を推進する

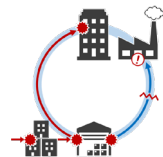
2. 成長のための人的資本への積極的投資

成長戦略実現のため、今まで以上に人的資本への積極的投資を行い、サービス品質と生産性を向上させ、一社でも多くのお客様の期待に応える

3. 既存事業の継続的拡大と利益率向上

過去5年のCAGR 11%を維持しつつ、業種別ソリューションをより強化することによって、さらなる利益率の向上を目指す

2030年に向け解決すべき社会的課題



サプライチェーンを狙った攻撃



社会インフラを狙った攻撃

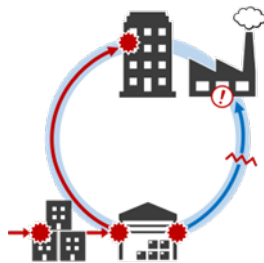


AI時代のセキュリティ

成長のための新たな経営ビジョン「Vision 2030」

- 2030年に向けた社会的課題を解決するため、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献している
- エンジニア、コンサルタントを始めとして当社のビジョンを共有するすべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自分自身の成長を感じている
- その結果、社会や株主から評価され、企業価値が向上している

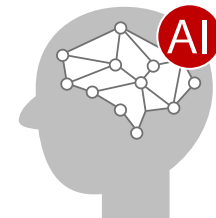
サプライチェーンを狙った攻撃



社会インフラを狙った攻撃



AI時代のセキュリティ



「Vision 2030」で定める経営指標は以下の通り



顧客数

3,000社

(社会の視点)

より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守り、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献する企業になる

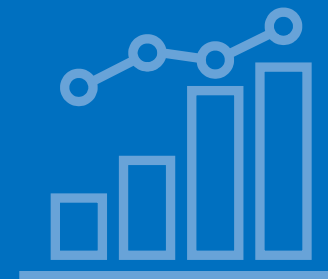


平均報酬

1,000万円以上

(従業員の視点)

すべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自身の成長を感じられる企業になる



営業利益

25億円

(株主の視点)

社会への貢献を継続し、社会や株主から評価される企業となり、さらなる企業価値の向上を目指す

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。



BBSec
BroadBand Security, Inc.